

環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 22年 12月 24日

## オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 <sup>1</sup>			
静岡県王子製紙間伐促進プロジェクト			
【依頼者】 プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	王子製紙株式会社(オウジセイシカブシキガイシャ)		
住所	東京都中央区銀座 4 丁目 7-5		
代表者氏名	篠田 和久	代表者役職	代表取締役社長
担当者氏名	辻本 篤郎	担当者 所属部署・役職	資源戦略本部 植林部 グループマネージャー
担当者 E-mail	atsuo-tsujimoto@ojipaper.co.jp	担当者電話番号	03-3563-4567
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	王子木材緑化株式会社(オウジモクザイリョッカブシキガイシャ)		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	王子製紙株式会社(オウジセイシカブシキガイシャ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認機関			
妥当性確認機関名	SGS ジャパン株式会社		



<sup>1</sup> プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□（排出削減技術）を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報																										
プロジェクト概要 <sup>2</sup>	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p><b>【プロジェクトの目的・内容】</b> 王子製紙社有林を対象として、山林所有者:王子製紙、山林管理・事業実行者:王子木材緑化共同にて、間伐促進による温室効果ガスの更なる吸収を図る。また、これにより木材資源の有効活用と公益的機能の増進を図る。</p> <p><b>【適格性基準との整合性】</b> 対象山林のすべてにおいて森林施業計画の認定を受けており森林法第5条に定める森林である。</p> <p><b>【法令遵守状況】</b> 森林施業計画 認定No. 421-28-001、期間 平成 21 年 7 月～26 年 6 月</p> <p><b>【採用技術】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>メーカー名</th> <th>耐用年数</th> <th>導入時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トウルerpルス</td> <td>Laser Technology 社</td> <td>15 年</td> <td>2010 年 9 月</td> <td>電子コンパス付レーザー距離計樹高測定器</td> </tr> <tr> <td>モバイルマップ6</td> <td>Magellan 社</td> <td>15 年</td> <td>2010 年 9 月</td> <td>GPS 機能付きポケットコンピュータ</td> </tr> <tr> <td>MapManager PRO</td> <td>(株)竹谷商事</td> <td>15 年</td> <td>2010 年 9 月</td> <td>測量ソフト</td> </tr> <tr> <td>直径巻尺</td> <td>ハイビスカス社</td> <td>-</td> <td>2010 年 4 月</td> <td>胸高直径測定器具</td> </tr> </tbody> </table> <p>○直径巻尺については、破損等で精度が落ちたと判断したら、更新(買替)を行っている。</p> <p><b>【モニタリング方法】</b> オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) ver. 1.8 に準拠して実施する。</p> <p><b>【GHG 算定式の方法論への準拠性】</b> 方法論 No. JRAM 001 ver.3.1 に準拠して算定する。</p> <p><b>【モニタリング体制】</b> 吸収量算定者:王子製紙(株)資源戦略本部植林部長 吸収量算定確認者:王子製紙(株)植林部グループマネージャー 吸収量算定担当者:王子木材緑化(株)林業部担当部長 吸収量測定者:王子木材緑化(株) 林業部、名古屋支店春日井事務所 内部監査:王子製紙(株)環境経営本部環境経営部 地球温暖化対策室長</p> <p><b>【QA / QC 体制】</b> 教育訓練:王子製紙植林部・王子木材緑化林業部共同にて現地調査実施年に行う。 情報管理:王子木材緑化林業部が管轄し、バックアップデータを王子製紙植林部が所有する。 保管期間は平成 35 年 3 月 31 日までとする。 データの確認:王子製紙植林部・環境経営本部地球温暖化対策室にてダブルチェックを行う。 内部監査:内部監査員は王子製紙地球温暖化対策室長とし、モニタリング報告書作成時に実施する。測定機器の維持管理:校正管理は王子木材緑化林業部・春日井事務所にて行う。</p>	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考	トウルerpルス	Laser Technology 社	15 年	2010 年 9 月	電子コンパス付レーザー距離計樹高測定器	モバイルマップ6	Magellan 社	15 年	2010 年 9 月	GPS 機能付きポケットコンピュータ	MapManager PRO	(株)竹谷商事	15 年	2010 年 9 月	測量ソフト	直径巻尺	ハイビスカス社	-	2010 年 4 月	胸高直径測定器具
	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考																					
トウルerpルス	Laser Technology 社	15 年	2010 年 9 月	電子コンパス付レーザー距離計樹高測定器																						
モバイルマップ6	Magellan 社	15 年	2010 年 9 月	GPS 機能付きポケットコンピュータ																						
MapManager PRO	(株)竹谷商事	15 年	2010 年 9 月	測量ソフト																						
直径巻尺	ハイビスカス社	-	2010 年 4 月	胸高直径測定器具																						

<sup>2</sup> プロジェクト概要は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関することを 2 ページ以内で具体的に記述してください。

プロジェクト 実施場所	(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。)						
	静岡県富士宮市芝川町上稲子 2978、2979-1,2,3、3052-1,2、3057-1						
	3059-1、3060-1,2、3064、3065、3066、3067-1,2,3,4,5、3071、3072、3092						
	3094、3095、3096、3097、3098、3099、3100、3101、3102、3103、3107、3108						
	3109、3110、3111、3112-1,2、3113、3114、3115-1,-2、3116、3117						
	3118-1,2,3、3119-1,2,-3、3120-1,2、3121、3122、3123、3124-1,-2、3125						
	3126、3127、3128、3129、3130、3131、3132-1、3133、3213、3215、3216、						
	3217-1,-2、3236、3237-1,2、3260-3、3670、3674-1,2、3675、3676、3677						
	3678、3679、3680、3681、3682-1,2、3769、3771、3780、3781-1,2、3782、						
	3785-1-2、3790-1、3790-2、3791、3792、3793-1-1,2、3793-2、3794						
3795-1,2、3796、3797、3798-1,2、3799-1,2、3800、3801、3804、3807-1,2,3							
3808、3809							
<方法論 R001・R003のみ> プロジェクト対象面積		51.29ha					
プロジェクト期間		2007年4月1日～2013年3月31日(6年0ヶ月)					
クレジット期間		2008年4月1日～2013年3月31日					
プロジェクト計画 開始届提出日		2010年9月14日					
妥当性確認終了日		2010年10月27日					
想定 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2 <sup>3</sup>			42	108	185	335
適用モニタリング 方法ガイドライン		オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (森林管理プロジェクト用) ver.1.8					
適用方法論		方法論番号	JRAM 001 ver.3.1				
		方法論名称	森林経営活動によるCO2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)				
ダブルカウントの防止措置							
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者		(プロジェクト代表事業者と同一の場合は記入不要)					印
ダブルカウントの防止措置内容		<p>【類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】 当該プロジェクトは類似制度へは申請しておらず、確保された吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境にかかわる付加価値の認証を取得しない。</p> <p>【善意の第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】 当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に売却する際には、その売却先に対して、環境に関わる付加価値は、クレジット化されており、当該森林の価値には付随していないこと、及び、当該森林の価値の帰属先と、環境に関わる付加価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成し、売却先に示す。なお、当該森林の売却の際には、森林特約の内容にも十分に留意する。</p>					
公的な報告・公表制度(判明している公的制度)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度</li> <li>・地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画(区域施策)の策定義務対象(都道府県)</li> <li>・「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」参加</li> </ul>					

<sup>3</sup> 小数点以下は切り捨てとし、トン単位で記載してください。よって、小数点処理のため、表記上では単年度の削減量・吸収量の合計と、各年度合計量が異なることもあり得ます。

自主的な報告・公表対象(対象となるホームページ、環境報告書等)	・”王子製紙ホームページ”、”王子製紙グループ企業行動報告書”にて当該プロジェクトの内容および、創出されるオフセット・クレジット(J-VER)の発行量、および売却量を明記する。 ・クレジット発行後には、当該クレジットに付属する CO2 に係る環境価値の保有を前提とした主張は行わない。
<b>備考欄</b>	

以上